

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 25 年度第 4 回)

議 事 録

2014 年 3 月 25 日 (火) 開催

時 間	15:00～17:00	場 所	地盤工学会会議室		
工 藤 委 員 長	○	亀 村 オブザーバー	×	浅 田 委 員	×
山 口 委 員	○	野 崎 委 員	○	西 岡 委 員	○
小 林 委 員	×	田 中 委 員	○	山 下 委 員	○
熊 野 委 員	×	渡 邊 委 員	○		

○：出席 ×：欠席

議事録担当者：田中委員

【前回議事録の確認】

【別紙 - 1】 pp. 1-3

・承認された。

【議 題】

【報告事項】

1. 会員・支部部の動き (工藤委員長)

・シニア対策に特化した委員会の設立は、人材、予算的観点から困難という話になっている。既存の枠組みを利用して、本部→支部、支部→支部間の情報共有の仕組みが作成できないか、検討中とのこと。関東支部、名古屋支部、九州支部では、独自にシニア対策の活動を実施している。

2. 男女共同参画学協会連絡会関連報告 (田中委員)

【別紙 - 2】 pp. 4-8

・第二回運営委員会では、要望書(案)について、地盤工学会、土木学会は女性技術者の実状を加味していない内容になっていることから、不賛同の意思表示をしたことを報告した。

・また、当日の議論の中で、要望書の元になっているアンケートが技術者の実状に沿ったものではなかったこと、今後技術者の立場からの要望書作成が課題であること、を連絡会参加学協会に認識いただいた。

⇒修正された要望書(案)は各学協会のコメントをできるだけ反映した内容になっており、また、地盤工学会にも女性研究者も在籍していることから、完全に不賛同の立場でなくてもよいのでは、という意見が挙げた。

⇒そのため、賛同学会として要望書に学会名を掲載するかどうかの判断を、会員支部部会→理事会の順に伺うこととなった。

⇒賛同学会となるかどうか保留であることを連絡会に連絡(田中委員より、3/27に連絡済み)。

⇒連絡会自体は、オブザーバーとして継続参加。

3. 土木学会ダイバーシティ推進委員会動向(工藤委員長)

・NHK 国際放送局より取材協力の依頼があったとのこと。4/11 放送の「NHK ワールド」で、“人手不足が急速に進む建設業～女性技術者は即戦力になるか～”という番組が製作されることが報告された。

4. その他

【別紙 - 3】 pp. 9

・H27 年度の地盤工学会誌におけるダイバーシティ小特集号企画については、以下を上申することとした。

－H27 年度の年度後半の号で、ダイバーシティ活動 10 周年記念として企画する。

－WEB 版をメインとし、学会誌には 3～4 ページの紹介記事を掲載 (WEB 版は学会員に限ら

- ず、多くの方の目に触れるメリットがある)。
- ー学会HPのトップページに、特集記事にリンクするバナーを出してもらうよう依頼する。
- ーH26年度のメインの活動となり、かなりの労力が見込まれるので、広報委員会から1名サポートをお願いできないかという相談をする(工藤委員長より)。

【審議事項】

1. 若手座談会について(西岡委員, 渡邊委員) 【別紙 - 4】 pp. 10-11

<主な議論, 決定事項>

- ・参加者(若手研究・教育関連会員)の勧誘は、西岡委員, 渡邊委員, 山口委員, 熊野委員を通して行う(要作成: ①学会の委員会名簿からピックアップ等リスト, ②事前アンケート→早急に実施し, メール審議。→4/7 スカウトメール・事前アンケート送信)。
- ・予算の関係上, スカウトした方々の交通費は基本的には支給なし。例外あり。
- ・当日の会長挨拶の依頼(工藤委員長より)
- ・会費は無料とする。
- ・開催時間は, 15~17時とするが, 都合の悪い人が多かったら, 16~18時に変更する。
- ・学会事務局との詳細打合せは, 西岡委員, 渡邊委員で担当。
- ・当日(5/13(火))は, 開始数時間前の準備から, ダイバーシティ委員会委員は原則全員参加。

2. 北九州大会ー特別セッションについて(工藤委員長) 【別紙 - 5】 pp. 12

<主な議論, 決定事項>

- ・担当者の見直しを行った。他の企画も踏まえて以下のとおりとする。

企画	実施時期	担当者
若手座談会	2014年5月	西岡委員, 渡邊委員
北九州大会	サロン	田中委員, 熊野委員
	特別セッション	山口委員, 西岡委員
夏の学校	2014年8月	未定

- ・ダイバーシティ特別セッションとサロンは初日の午後となる見込み。具体的な時間・場所は, 4月始めの大会実行委員会で決定。
- ・シニアについての発表は, 九州支部にシニア活動報告をしてもらってはどうか(工藤委員長より打診)。
- ・作業項目を確認。工藤委員長は, 演者への挨拶, 過去資料送付のみ。その他の演者との折衝はセッション担当者が実施。
- ・男女共同参画学協会連絡会への共催・後援等の依頼は, 5月に実施する(田中委員より)。
- ・内閣府チャレンジキャンペーンへの共催・後援等の依頼は, 5月に実施する(山下委員より)。
- ・HP, 学会誌掲載用プログラム案作成は, 4月末。伊佐治さんに要相談(セッション担当者より)。

3. 北九州大会ーサロン・土・カフェWについて(工藤委員長, 山口委員)

<主な議論, 決定事項>

- ・具体的な時間・場所が4月始めの大会実行委員会で決定後, 準備を開始。
- ・希望としては, 特別セッションの後に行いたい。
- ・お手伝いを九大・笠間先生にご相談する(工藤委員長より)。無理なようなら, 連絡会の九工大の学生広報委員等に依頼する。
- ・特別セッションとは別の会場になる可能性が大きい。伊佐治さんが事前確認した段階では。適切な場所があまりなかった。

4. その他

- ・特になし

5. 次回開催日の確認: 平成26年度第1回 2014年6月20日(金) 15:00~17:00

⇒主な議題: 若手座談会結果報告, 北九州大会準備, 夏学準備等